

# 徳大卒業生 就職活動体験記

名前：CHO YEEUN (ジョ イエウン)

出身：韓国

学歴：徳島大学大学院創成科学研究科理工学専攻機械科学コース

(2026年度 卒業・修了予定)

会社：JFE スチール株式会社 (東京都)

仕事内容：研究開発・製造設備(未定)



## (1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？：

私が日本企業での就職を選んだ理由は三つあります。一つ目は、日本で6年間生活をする中で、生活環境や人間関係がより自分に合っていると感じ、日本で働きたいと思うようになったためです。二つ目は、日本では自分のスキルや大学での研究経験をより発揮できると考えたためです。韓国では自分と同じ能力があっても就職が難しいと言われる一方で、日本には成長を続けながら挑戦できる環境が整っていると感じています。三つ目は、説明会やインターンを通して企業の魅力に触れ、「ここで働きたい」という想いが芽生えたためです。私が選んだJFEスチールは、鉄鋼業界の中でも高い知名度があり、グローバルに活躍できる環境や充実した福利厚生が整っているため、自分にとって最適な選択であると確信しています。

## (2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

最も苦労したのは、研究内容を専門外の人に対しても 分かりやすく説明することでした。面接では「研究の概要」だけでなく、「研究を通じて得た知識や経験がその企業での業務にどう活かされるのか」まで伝える必要があります。そのため、専攻の異なる友人や家族からの協力を得ることで、分かりやすく表現するための力を養いました。成功に繋げられたポイントとしては、客観的な指標を用いて自分の強みをアピールできた点です。特にTOEICで高得点を取った経験や学会での発表経験は評価されやすく、語学力や研究への理解度を示す上で重要な指標であったと感じています。更に、私はアルバイトでの接客を通じて、正しい敬語の使い方や日本語での対話能力を培い、自信を持って面接に臨めた点も成功に繋げられた要因だと考えています。

## (3) これから就活に向けたアドバイス：

視野を広く持ち、さまざまな業界や企業について情報を集めることをお勧めします。積極的に説明会やインターンに参加することで、興味の幅が広がるだけでなく、より自分に合った企業を見つけることに繋がります。また、自分の語学力や専門性を客観的に示せる資格を取得することも大きな強みになります。JLPTやTOEICのスコアや学会での発表経験などは自信に繋がり、企業からの評価も高めてくれます。インターンや工場見学に参加する際は、質問をしたり、メモを取ることが非常に重要です。他の学生との情報交換も有益で、人脈を広げることにも繋がります。更に、外国人学生は日本語だけでなく母国語が話せる点や海外経験が豊富にあるという独自の強みがあります。自信を持って、自分の価値をしっかりとアピールしてほしいと思います。